連携講座　③－1【聖路加国際大学】一般募集　15名

◆生活を整えて、いつまでも動けるからだづくりを考えよう

主　題　皆さんのからだは日常生活の中で無理なく動いてくれていますか？健やかに過ごすために、骨や筋肉を意識しながらいつまでも動けるからだづくりについて考えていく講座です。また、ヨーガを通して気持ちよくからだを動かす演習もあります。初心者も安心してご参加ください。

講座番号　③－1

時　間：午後6時～7時30分
場　所：聖路加国際大学2号館
回　数：5回
受講料：1,500円
定　員：28名

※第4回・第5回のヨーガは体を締め付けないズボン、シャツ、靴下で、体を覆えるバスタオルまたは大きめのタオルを持参ください。着替える場所もご用意しております。（ヨガマットは会場に準備がありますので、ご持参いただかなくて結構です）
※第5回は演習後に交流会を予定しています。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/17（木）	骨の仕組みと骨粗鬆症	菱沼　典子
第2回	10/ 1（木）	骨の健康のために～毎日できること、栄養と運動～	飯田　正子
第3回	10/15（木）	肩こり・腰痛・ひざの痛みとうまく付き合おう	辻　荘市
第4回	10/29（木）	介護予防のために生活に取り入れるヨーガ①	花村　睦
第5回	11/12（木）	介護予防のために生活に取り入れるヨーガ②	

講師紹介

菱沼　典子（ひしぬま　みちこ）

聖路加国際大学教授。医療職だけでなく、皆が体のしくみを知っている社会をめざしている。体を知り、元気に暮らす工夫や病気の予防、万一病気になったときに、症状や治療の理解につなげる取り組みをしている。

飯田　正子（いいだ　まさこ）

聖路加国際病院看護管理室ナースマネジャー。一般社団法人日本骨粗鬆学会骨粗鬆症マネジャー認定者。聖路加健康ナビスポット「るかなび」で市民対象にボランティアで骨粗鬆症リエゾンサービスの役割を実践している。

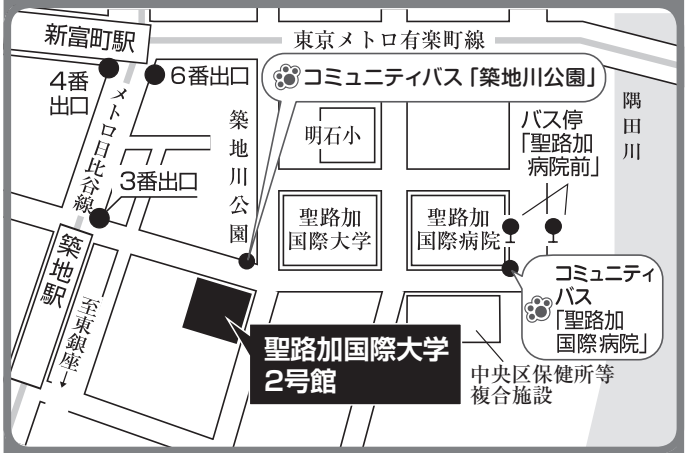
辻　荘市（つじ　そういち）

聖路加国際病院整形外科医長、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医。人工関節のスペシャリスト。著書に『お医者さんがすすめるよく効く！腰痛体操』（PHP研究所）。

花村　睦（はなむら　むつみ）

ハタヨーガ・ティーチャー。立教大学・日本女子大学卒業。米国・インドでヨーガを学び、「聞き合うコト・つなぐコト」をテーマに、ヨーガやコミュニケーションの講座を開催。誰にでも分かりやすい方法で、ハタヨーガストレッチと瞑想を行う。

会場図



中央区築地3－8－5
☎6226－6388

連携講座　③－2【三井記念美術館】一般募集　30名

◆展覧会を観る

主　題　三井記念美術館が開催する平成27年度後半の展覧会にあわせ、企画担当者がそれぞれの専門の立場から講義を行います。

2時間のうち1時間が講義、あとの1時間が展覧会の自由見学です。

※当日欠席者には、翌日以降の平日午前9時～午後5時に、生涯学習係で入場券をお渡しします。

講座番号　③－2

時　間：午後2時～4時
場　所：三井記念美術館
回　数：3回
受講料：900円
入館料：2,100円（3回分）
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/15（火）	蔵王権現と修験の秘宝	海老澤　るりは
第2回	12/ 8（火）	三井家伝世の至宝	清水　実
第3回	3/ 8（火）	三井家のおひなさま	小林　祐子

講師紹介

海老澤　るりは（えびさわ　るりは）

三井記念美術館主任学芸員。成城大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。2011年より現職。専門は日本彫刻史。

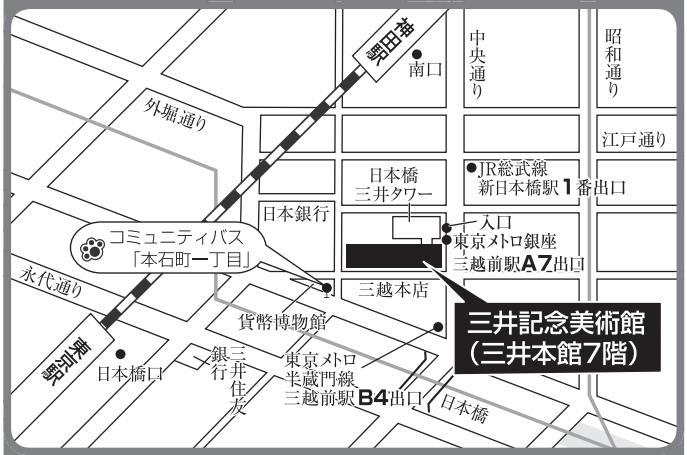
清水　実（しみず　みのる）

三井記念美術館学芸部長、主席学芸員。國學院大學史学科卒業。専門は宗教美術史・文化史、茶道美術。

小林　祐子（こばやし　ゆうこ）

三井記念美術館主任学芸員。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得退学。財団法人永青文庫学芸員を経て2004年10月より現職。専門は日本漆工史。

会場図



中央区日本橋室町2－1－1 三井本館7階
☎5777－8600

三井記念美術館　展覧会スケジュール

特別展　蔵王権現と修験の秘宝
8月29日（土）～11月3日（火）
「大峯奥駈け」の荒行で知られる奈良県の金峯山寺をはじめとする吉野の社寺と、崖上に建つ「投入堂」で有名な鳥取県の三佛寺を中心とした、仏像、絵画、工芸品など、蔵王権現像他の修験道が生み出した山岳宗教の美に触れていただきます。

三井文庫開設50周年・三井記念美術館開館10周年　記念特別展Ⅱ　三井家伝世の至宝
11月14日（土）～2016年1月23日（土）
三井記念美術館は2005年10月8日に開館し、今年度開館10周年を迎えます。これを記念して、記念特別展Ⅱでは館蔵の国宝・重要文化財を中心に、現在は三井から離れ、他の美術館・個人等の所蔵となっている名品・優品もあわせて展示し、かつて三井家に伝世した至宝の数々を一堂のもとに鑑賞していただきます。

三井家のおひなさま
2016年2月6日（土）～4月3日（日）
毎年恒例となりました、日本橋に春の訪れを告げる「三井家のおひなさま」展。三井家の夫人や娘たちがこよなく愛した、ひな人形・ひな道具の華麗なる競演をお楽しみください。

連携講座　③－3【松竹株式会社】　一般募集　60名

◆歌舞伎ものしり講座

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児
10/21 観劇時を除く

主　題　歌舞伎は日本人が創り上げた大衆娯楽の最高傑作です。歌舞伎を見れば日本人が培ってきた洒落の精神やアイディアの豊かさが実によくわかります。舞台には優れた色彩感覚や言葉の遊びが溢れ、綿密に練り上げられたストーリーは自由奔放に展開して奇想天外な楽しさで観客を魅了します。その主役はなんといっても、舞台で華やかなオーラを放つ歌舞伎俳優たち。時代を超えて脈々と受け継がれてきた芸は、客席からのパワーを得てますます輝き出します……。だから歌舞伎は面白い！

この講座では、歌舞伎座一等席での観劇（10月公演）を通して歌舞伎の楽しさを体感していただきます。

講座番号　③－3

時　間：午後2時30分～4時
※第4回は午後2時30分～9時頃
場　所：築地社会教育会館ほか
※第4回は講義後、歌舞伎座
回　数：5回
受講料：2,500円
観劇料：14,000円～15,000円
定　員：80名

※第1回～5回のうち1回にゲストをお招きする予定です。ゲストの都合により、講座内容が入れ替わる場合がありますので、ご了承ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/30（水）	團十郎と歌舞伎十八番	金田　栄一
第2回	10/ 7（水）	衣裳のおもしろさ	
第3回	10/14（水）	知っておきたい江戸の雑学	
第4回	10/21（水）	観劇の手引きと観劇	
第5回	11/ 4（水）	歌舞伎キーワードあれこれ	

講師紹介

金田　栄一（かねだ　えいいち）

歌舞伎座舞台（株）顧問。1971年立教大学卒業。在学中は歌舞伎研究会に所属。同年松竹株式会社に入社。歌舞伎座宣伝課長、副支配人、支配人、演劇本部ゼネラルマネジャーを経て、2005年5月（株）伝統文化放送代表取締役社長に就任。2008年より歌舞伎座舞台（株）代表取締役社長、2012年より顧問を務める。

歌舞伎座外観

会場図（第4回講義終了後）

中央区銀座4－12－15

連携講座　③－4【小津和紙】一般募集　25名

◆ユネスコ無形文化遺産に登録された手漉き和紙技術

主　題　日本の手漉き和紙の技術がユネスコ無形文化遺産に登録され、和紙が注目されています。小津和紙は、和紙に関わり創業362年目を迎え、今春1階～3階までリニューアルオープンしました。

小津の歴史や、和紙の現状、和紙の使われ方など、紙漉き体験も通して和紙をより身近に感じていただける講座です。

講座番号　③－4

時　間：午後3時15分～5時15分
場　所：日本橋小津和紙
回　数：4回
受講料：1,200円
材料費：1,000円
定　員：30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/ 9（水）	小津の歴史／小津史料館見学	一瀬　正廣
第2回	9/30（水）	全国の手漉き和紙の現状について	尾村　知子
第3回	10/14（水）	和紙工芸の世界	金澤　久男
第4回	10/28（水）	紙漉き体験と和紙の説明	高木　清

講師紹介

一瀬　正廣（いちのせ　まさひろ）

和紙アドバイザー、小津和紙照覧総責任者。1952年生まれ。1965年小津産業入社。家庭紙営業に就くのちに支店長となる。2005年小津和紙店長に就任、同年和紙文化研究会入会。2012年小津和紙アドバイザーとなり現在にいたる。

尾村　知子（おむら　ともこ）

和紙コーディーネーター。1990年～98年に和紙専門誌の編集に携わり、本格的な手漉き和紙とその作り手たちと出会う。2004年より、雑誌編集で知り合った漉き手の和紙を紹介する展示会を企画（「手漉き紙四人展」を小津ギャラリーで毎年開催）、レースのような創作和紙「流泉紙」のウェディングドレス、和紙の花の製作を始める。

金澤　久男（かなざわ　ひさお）

和紙工芸・京雅主宰。東京生まれ。日本デザインスクール・ウォールガバリング科卒業後、父のもとで和紙工芸の仕事を始める。1981年2代目家元を継ぎ現在に至る。くらしの中で使える和紙製品をコンセプトに、大きな家具（タンス･机･棚etc.）から小さなもの（メガネ･トレー･和紙財布etc.）まで、手漉き和紙の持つ暖かさ、丈夫さを生かし、創る楽しさ、使う喜びを伝えるべく活動中。

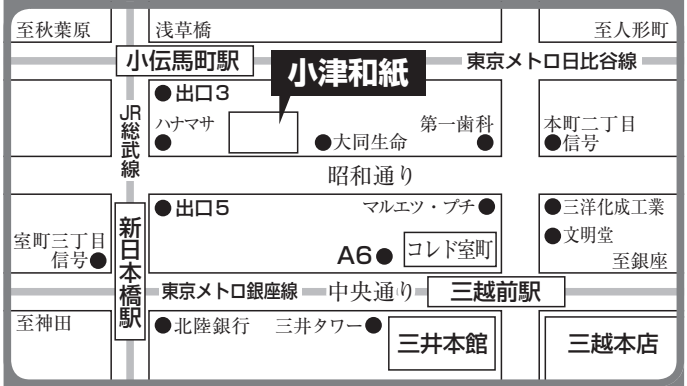
高木　清（たかぎ　きよし）

株式会社小津商店、小津和紙課長。1960年生まれ。1983年小津紙商事株式会社（現：小津産業株式会社）入社。不織布による工業用ワイパーや生活雑貨品の企画販売、機械漉き和紙による産業用原紙の企画販売を担当。2009年株式会社小津商店へ移籍。小津和紙にて手漉き和紙及び機械漉き和紙の販売を担当し、現在は紙漉き工房を担当。

展示予定

9/ 7～ 9/12　Sumi・アート展2015
9/28～10/ 3　第10回安永サロン押し花展
10/12～10/17　「鬼とフラメンコ」勝田深氷遺作展
10/26～10/31　あらきかずこのテキスタイルアート展

会場図



中央区日本橋本町3－6－2

連携講座　③－5【岡山大学】 一般募集　50名

◆科学技術の最前線

主　題　文部科学省の「研究大学強化促進事業」、「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」、厚生労働省の「臨床研究中核病院」に選定されている岡山大学から、身近で興味深い話題を選んでお話いたします。

今年度は、地球温暖化の原因や、今や生活の一部となっている携帯電話の未来、また豊かな生活をささえるおいしい果物についてのお話、さらにはがんや糖尿病といった現代病について免疫学の観点からご紹介いたします。

講座番号　③－5

時　間：午後6時30分～8時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：4回
受講料：1,200円
定　員：60名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 6（金）	地球温暖化の原因を正しく理解する ～100年後の世代のために～	野沢　徹
第2回	11/13（金）	移動通信のこれまでとこれから ～携帯電話・スマートフォン・その後？～	秦　正治
第3回	11/20（金）	おいしいくだものを作る科学と技術 ～くだもの王国　岡山から～	森永　邦久
第4回	11/27（金）	免疫と生活習慣・病気について ～ストレスを味方につける～	鵜殿　平一郎

講師紹介

野沢　徹（のざわ　とおる）

岡山大学大学院自然科学研究科教授。1968年生まれ。1996年京都大学大学院理学研究科博士課程研究指導認定退学。京都大学博士（理学）。国立環境研究所地球環境研究センター気候モデリング・解析研究室長などを経て、2013年より現職。コンピュータシミュレーションを援用して、過去から将来にかけての気候変動・変化のメカニズム解明に関する研究を行っている。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告書作成にも貢献。

秦　正治（はた　まさはる）

岡山大学大学院自然科学研究科教授。1950年生まれ。1975年九州大学大学院修了。電電公社電気通信研究所、NTT移動通信網株式会社（現NTTドコモ）研究所などを経て、2001年より岡山大学工学部教授。一貫して移動通信システムの研究開発に従事。特に、ディジタル信号伝送技術や無線回線設計法の確立、無線方式の国際標準化に携わる。2013年、移動通信発展への貢献により総務大臣表彰受賞。

森永　邦久（もりなが　くにひさ）

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1951年生まれ。九州大学博士（農学）。農水省所管国立研究機関における研究（途中オーストラリアに留学）を経て、現職。水分ストレスと果実の品質、生体情報の非破壊評価、気候変動が果樹に与える影響など果樹の品質・生産と環境に関わる先端的な研究を行う。国立研究機関在勤中には天皇皇后両陛下ご臨席のもと果樹の古品種を皇居に植栽したり、NHKクローズアップ現代（2009年12月）「気候変動と果樹の特集」に出演。

鵜殿　平一郎（うどの　へいいちろう）

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授。1959年生まれ。1990年3月長崎大学医学研究科博士課程修了。免疫学、とりわけ腫瘍免疫学における新しいがん免疫治療法の研究・開発を手がける。各種ストレスに対する生体応答（ストレス応答）から読み解くユニークな免疫学の世界を構築。ストレスに抵抗しようとする力こそが、生体防御にとって重要と考える。また、糖尿病とがんに共通する免疫機能低下に着目、がんを代謝ストレス病（生活習慣病）の一つと捉え、2型糖尿病治療薬メトホルミンを用いた癌治療研究・開発に着手。

連携講座　③－6【奈良まほろば館】 一般募集　30名

◆記紀・万葉のふるさと奈良
～日本書紀ことはじめ～

主　題　日本最古の正史である『日本書紀』が奈良で編纂され、完成してまもなく1300年になります。

この講座では、奈良県下の『日本書紀』ゆかりの地をご紹介するとともに、『日本書紀』から読み解く当時の生活風景、史書という枠には収まらない逸話など、奈良県と記紀・万葉集の関わりについて幅広く学んでいただきます。

講座番号　③－6

時　間：午後2時～3時30分
場　所：奈良まほろば館2階
回　数：3回
受講料：900円
定　員：35名（区民カレッジ枠）
※その他、奈良まほろば館でも受講生を募集します。区外の方もお申込みできます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/ 8（日）	記紀ゆかりの地を訪ねる	鉄田　憲男
第2回	11/29（日）	『日本書紀』にみる古代道路	近江　俊秀
第3回	1/24（日）	物語として楽しむ『日本書紀』	井上　さやか

講師紹介

鉄田　憲男（てつだ　のりお）

NPO法人「奈良まほろばソムリエの会」専務理事、川上村「村おこし」アドバイザー。1953年和歌山県生まれ。大阪大学経済学部および早稲田大学文学部を卒業後、1978年南都銀行に入行。主に企画・広報畑を歩み、現在は同行公務・地域活力創造部シニアスタッフ（嘱託）として観光活性化、林業･木材業振興に携わる。『奈良「地理・地名・地図」の謎』（実業之日本社）を監修。

井上　さやか（いのうえ　さやか）

奈良県立万葉文化館主任研究員。博士（文学）。専門分野は『万葉集』を中心とした日本文学。著書に『山部赤人と叙景』（新典社）、『万葉集からみる「世界」』（新典社新書）がある。『万葉ことば辞典』（大和書房）『よくわかる日本の神話と神々』（新人物往来社）などにも執筆。

近江　俊秀（おおみ　としひで）

文化庁文化財部記念物課調査官。1989年4月～2009年3月まで奈良県立橿原考古学研究所に勤務。専門は日本古代交通史。著書に『道が語る日本古代史』（朝日新聞出版）、『古代道路の謎』（祥伝社）、『日本の古代道路』（角川選書）、『平城京の住宅事情』（吉川弘文館）など。

会場図

【交通】
■東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」A1出口
■東京八重洲口からメトロリンク日本橋（無料バス）「地下鉄三越前駅」下車

中央区日本橋室町1－6－2
日本橋室町162ビル2F　☎3516－3931

奈良まほろば館での募集　35名

定員の半数は奈良まほろば館で募集します。区外の方もお申込みできます。

申込方法

奈良まほろば館のホームページ「講座案内」（http://www.mahoroba-kan.jp/course.html）の申込フォームまたは往復はがきで（記載事項は本誌2ページ、記入例の①～⑤）8月25日（必着）までに申込む。

申込先

〒103－0022
中央区日本橋室町
1－6－2
奈良まほろば館

※中央区（区内在住・在勤・在学者）かまほろば館（どなたでも）かどちらか一方でお申込みください。

奈良県マスコットキャラクター
せんとくん
©NARA pref.

連携講座　③－7【金沢大学】　一般募集　35名

◆金沢を知る
～受け継がれる伝統と新しい風～

主　題　2015年3月14日、北陸新幹線が金沢まで開業し首都圏から金沢まで最短で2時間半で結ばれ、金沢がぐっと近くなりました。

この講座では、金沢の歴史的建造物を生かしたまちづくり、金沢の文化、さらに留学生が学ぶ金沢など、いろいろな角度から「金沢」についてご紹介します。

ガイドブックには載っていない金沢の魅力なども学んでいただき、実際に金沢へ足を運んでいただけたらうれしいです。

さあ、あなたも文化的な香りを醸し出す金沢の伝統・粋を、耳で、目で、舌で味わってみませんか。

講座番号　③－7

時　間：午後2時～3時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：4回
受講料：1,200円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/14（土）	和菓子で歩く／読む金沢	杉山　欣也
第2回	11/28（土）	金沢の文化的景観を生かしたまちづくり	小林　史彦
第3回	12/ 5（土）	まいどさんが語る金沢の魅力	喜多　益雄
第4回	12/12（土）	留学生が学ぶ金沢の豊かな自然と文化	MAMMADOVA AIDA

講師紹介

杉山　欣也（すぎやま　きんや）

金沢大学人間社会研究域教授。博士（文学）。筑波大学大学院文芸・言語研究科修了。専門は日本近現代文学。三島由紀夫を中心に研究。和菓子と散歩が好きで、つねに金沢市街の和菓子屋を探訪している。

小林　史彦（こばやし　ふみひこ）

金沢大学理工研究域講師。博士（工学）。京都大学大学院工学研究科博士後期課程中退。専門は都市計画、歴史的環境保全計画。自ら町家に住む傍ら、『町家巡遊』、『こまちなみなーと』など歴史的建造物の一斉公開イベントの企画・運営に携わってきている。

喜多　益雄（きた　ますお）

金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」会長。同会に21年前から所属し、観光客の心が豊かになるよう願い、金沢市内をガイドしている。独自に兼六園の研究を40年間続け魅力を伝えている。また、スピーチ研究所を主宰し、多様な人材のスピーチ能力向上に努めている。

MAMMADOVA AIDA（ママードウア　アイーダ）

金沢大学国際機構留学生センター特任助教。博士（医学）。金沢大学大学院医学系研究科修了。国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットでプロジェクトアシスタントを務めた。里山・里海、都市と生物文化多様性の研究に取り組んでいる。

連携講座　③－8【松竹株式会社】　一般募集　35名

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児

◆映画おもしろ講座

主　題　1895年に創業した松竹は、今年120年を迎えます。映画については、1920（大正9）年に松竹キネマ合名社設立、蒲田撮影所もこの年に開所し、11月には「島の女」を明治座で公開しました。

こうして始まった松竹映画の歴史と、そこで作られた数々の名作や巨匠と呼ばれる監督たちなど、松竹映画にまつわるエピソードから最近の映画製作まで、現役松竹社員が楽しく解説いたします。

講座番号　③－8

時　間：午後2時～4時
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/ 6（日）	松竹映画の歴史	松竹株式会社社員
第2回	9/13（日）	松竹出身の名監督たち	
第3回	9/27（日）	最近の映画製作について	

松竹大船撮影所

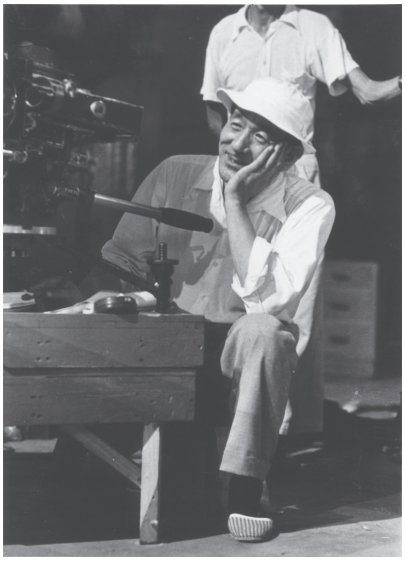
©松竹株式会社

©松竹株式会社

『二十四の瞳』監督：木下恵介

©松竹株式会社

『男はつらいよ』シリーズ
監督：山田洋次



©松竹株式会社

『早春』撮影風景
監督：小津安二郎

連携講座　③－9【朝日新聞社】 一般募集　35名

◆私たちの生活と未来～東日本大震災から5年～

主　題　2011年3月11日に発生した東日本大震災から、2016年3月で5年を迎えます。未曽有の被害をもたらした大震災から5年の間に、私たちの生活を取り巻く状況はずいぶんと様変わりしました。

国の根幹をなす憲法は、安全保障政策をめぐり大きく揺らいでいます。福島第一原発事故で原発の安全性への信頼は薄れ、国の電力政策を疑問視する声も出ています。世界遺産決定のニュースへも、近年は国内外からさまざな視線が向けられるようになりました。そんな中、国の借金は1千兆円を超え、借金の膨張に歯止めがかかりません。

朝日新聞の社説を担当するベテラン記者がこれらの問題を解説するとともに、私たちに何ができるのか、解決の糸口をさぐります。

講座番号　③－9

時　間：午後3時30分～5時
※第3回は午後0時45分～2時30分
場　所：朝日新聞東京本社
2階読者ホール
回　数：5回
受講料：1,500円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/12（火）	憲法の行方	国分　高史
第2回	1/19（火）	原発と電力政策	高橋　万見子
第3回	1/26（火）	朝日新聞東京本社内見学　（午後0時45分～2時30分）	
第4回	2/ 2（火）	世界遺産にみる日本	山口　宏子
第5回	2/ 9（火）	日本の財政問題	田中　雄一郎

講師紹介

国分　高史（こくぶ　たかし）

朝日新聞論説委員（政治担当）。1989年入社。佐賀支局、西部社会部（福岡）などを経て1995年から東京本社政治部。首相官邸、自民党、外務省などを担当。2004年、米ワシントンのジョンズ・ホプキンス大高等国際問題研究大学院客員研究員。帰国後、政治部次長などをへて現職。共著に『地方自治制度再編論議の深層』（公人の友社）など。

高橋　万見子（たかはし　まみこ）

朝日新聞論説委員（経済担当）。1988年入社。津支局、静岡支局を経て1992年から経済記者として自動車産業、金融、社会保障政策、行政改革などを担当。月刊誌「論座」やGLOBEの副編集長を務めた後、2010年から現職。電力・エネルギーのほか、福島の復興や情報通信、新技術などを担当。共著に『金融動乱』（朝日新聞社）。

山口　宏子（やまぐち　ひろこ）

朝日新聞論説委員（文化担当）。1983年入社。静岡支局、浦和支局を経て、87年東京本社学芸部（現・文化くらし報道センター）。演劇を中心に、文化分野を担当。学芸部次長などの後、2003～04年早稲田大学演劇博物館客員研究員。05～08年編集委員、08～11年論説委員。大阪本社勤務などを挟み、14年から再び現職。

田中　雄一郎（たなか　ゆういちろう）

朝日新聞論説委員（経済担当）。1964年、兵庫県生まれ。87年入社。津、豊橋両支局や東京、名古屋、福岡の各経済部員、社長室（新規事業開発担当）を経て、2011年4月から現職。経済部時代は税制・財政や経済政策などの行政分野を中心に取材した。現在は、ほかにTPPなどの通商政策や公共事業、交通政策、農林水産政策なども担当。

会場図

中央区築地5－3－2

連携講座　③－10【株式会社ミキモト】 一般募集　35名

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児

◆真珠学
～真珠と人とのかかわりを考える～

主　題　ミキモトは、1899（明治32）年の創業時より銀座に店舗を構え、1世紀以上にわたり、人々の心や生活を豊かにする宝飾品を扱う企業として、日本の近代宝飾文化の礎を築いてきました。

この講座では、真珠の基礎知識、宝飾品の歴史、ミキモトのジュエリー制作の歴史や技術、真珠や真珠養殖の研究・開発など、文化的な側面から科学的な側面まで、真珠に関する幅広い知識を学んでいただけます。

講座番号　③－10

時　間：午後2時～4時
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：1,500円
定　員：40名

※平成26年度後期講座と同じ内容です。
※はじめて受講される方が優先されます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/29（金）	真珠の基礎知識： 真珠宝飾品の歴史、天然真珠と養殖真珠、真珠の種類や見分け方	市川　美穂
第2回	2/12（金）	真珠の科学： 養殖真珠ができるまで、養殖に関する研究や開発	岩橋　徳典
第3回	2/26（金）	ミキモトジュエリーができるまで ～ジュエリー制作の歴史と技法～	秋場　邦彦

講師紹介

市川　美穂（いちかわ　みほ）

㈱ミキモト広報宣伝部長。マーケティング、営業を経験。宝飾業界で初めてのお客様相談窓口設立にも携わった。取材やセミナー等を通じて、真珠をはじめ、ジュエリーの知識や着ける楽しさを伝えることに取り組んでいる。

岩橋　徳典（いわはし　やすのり）

㈱ミキモト真珠研究所研究員。三重大学水産学部卒業。真珠の品質管理等について科学的な側面から取り組んでいる。

秋場　邦彦（あきば　くにひこ）

㈱ミキモト装身具クラフトマン。2008年、東京都優秀技能者（東京マイスター）認定。貴金属装身具製作一級技能士。2008年より東京都首席技能検定委員をつとめる。第12回インターナショナル・プラチナ・デザイン・コンテスト特別賞＆プラチナギルド賞、第30回パールデザインコンテスト入賞。

連携講座　③－11【京都館】一般募集　70名

伊藤若冲 生誕300年記念
◆京都講座～京の町衆が生んだ異才の画家 伊藤若冲の世界～

主　題　江戸中期の画家・伊藤若冲（1716～1800）は、京都錦小路の青物問屋（八百屋）に生まれ、2016（平成28）年には生誕300年を迎えます。この節目の年を記念して、若冲ゆかりの場所、親交や交流のあった人々など、若冲の足跡について塩原講師から紹介します。

また、若冲の豊富なコレクションを所蔵する細見美術館の細見館長が、独自の写実と想像を巧みに融合させた「異才の画家」若冲についてたっぷりと解説します。

講座番号　③－11

時　間：午後7時～8時30分
場　所：月島社会教育会館
回　数：2回
受講料：600円
定　員：80名（区民カレッジ枠）
※その他、京都市（京あるきin東京2016）でも受講生を募集します。区外の方もお申込みできます。（12月中旬募集予定）

※京都市のアンテナショップ「京都館」（東京駅八重洲中央口正面）
URL：http://kyotokan.jp/

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	2/24（水）	伊藤若冲と同時代の画人のゆかりを訪ねて	塩原　直美
第2回	3/ 2（水）	伊藤若冲と京（みやこ）の美術	細見　良行

講師紹介

塩原　直美（しおばら　なおみ）

京都商工会議所「京都検定講演会」講師。國學院大學卒業。20代に東京から京都へ移住し、見聞に明け暮れる。帰京後、フリー記者として日刊ゲンダイなどに執筆するかたわら、「京都館」に7年間勤務。現在は京都検定1級取得をいかし、首都圏を中心に観光誘致活動中。BS朝日「京都1200年の旅」、「とっておきの京都」ブレーン、都道府県応援サイト「風土47」京都コラム連載。京都観光おもてなし大使。

細見　良行（ほそみ　よしゆき）

細見美術館館長。1954年生まれ。1977年同志社大学卒業。1994年祖父の日本美術コレクションを基礎とし、文部省の認可による財団法人細見美術財団を設立。1998年京都・岡崎に細見美術館を開館。館長に就任。展覧会の企画・展示に携るほか、趣味をいかして美術館での茶会を開催するなど、伝統文化の普及につとめる。京都市内博物館施設連絡協議会幹事長。琳派400年記念祭委員会専門委員。京都国際観光大使。

石峰寺の五百羅漢

雪中雄鶏図（細見美術館蔵）

連携講座　③－12【近畿大学水産研究所】　一般募集　35名

◆クロマグロ等の養殖研究について

主　題　近畿大学は、1948（昭和23）年に水産研究所を開設し魚類養殖の研究を行い、網生簀養殖法の開発、世界初の18魚種の人工ふ化やクロマグロ等の完全養殖、品種改良による高品質の種苗生産等に成功し、養殖業界に寄与してきました。また、文部科学省のグローバルCOEプログラムでクロマグロ等の養殖研究拠点を形成し、現在私立大学戦略的研究基盤支援事業で“魚類の完全養殖の高度化”に取り組んでいます。

この講座では、生産部門である水産養殖種苗センターや、大学ベンチャー企業の㈱アーマリン近大との連携による養殖魚専門料理店の出店といった実社会に貢献している活動の一端をご紹介いたします。

講座番号　③－12

時　間：午後2時～3時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円
定　員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/12（土）	クロマグロの完全養殖研究と産業化への現況について	宮下　盛
第2回	10/17（土）	今後のクロマグロ養殖事業について	升間　主計
第3回	11/ 7（土）	新たな養殖対象魚、クエ、マアナゴおよびサクラマスの養殖事業展開	家戸　敬太郎

講師紹介

宮下　盛（みやした　しげる）

近畿大学水産研究所長・特任教授。近畿大学農学部水産学科卒業。「クロマグロの種苗生産に関する研究」で学位を取得。魚類の種苗生産による完全養殖の研究で、近畿大学水産研究所の基礎を作った故原田輝雄に師事。専門分野は海水魚類の増養殖で、クロマグロ研究にもスタートから参画し、32年かけて達成した完養殖達成に携わったスタッフの一人。

家戸　敬太郎（かと　けいたろう）

近畿大学水産研究所富山実験場長・同白浜実験場長代理・教授。近畿大学大学院農学研究科修士課程修了。「マダイの品種改良に関する研究」で学位を取得。富山実験場において、マアナゴやサクラマスの完全養殖研究に取り組むとともに、それらの生産事業化を推進して実績を挙げつつある。また、白浜実験場において、専門分野である魚類の遺伝・育種に関する研究に取り組む他、卒業研究生の実験指導を担当。

升間　主計（ますま　しゅけい）

近畿大学水産養殖種苗センター長・近畿大学水産研究所白浜実験場長・同奄美実験場長・教授。広島大学水畜産学部水産学科卒業。「クロマグロ・キハダの親魚養成と産卵生態に関する研究」で学位を取得。長年、国の研究機関で魚類飼育、特にクロマグロに関する研究に携わった後、3年前から水産研究所に在籍。専門分野は魚類の種苗生産に関する研究で、指導する卒業研究生とともに精力的に活動している。現在、私立大学戦略的研究基盤支援事業“魚類の完全養殖の高度化”の研究代表者。

連携講座　③－13【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　20名

◆日本仏教13宗派のあゆみ

主　題　日本の大乗仏教には13の宗派があります。

聖徳太子の時代から聖武天皇の時代まで奈良の6宗が広まり、その後、入唐求法した最澄と空海が天台宗と真言宗を請来しました。さらに栄西と道元により臨済宗と曹洞宗の聖道門が伝来し、日本人の死生観に強い影響を与えました。また浄土門においては良忍、法然、親鸞、一遍などが庶民の間に念仏の教えを広め、日蓮、叡尊、忍性などは仏国土の実現に努めました。これら宗祖らの苦難の生き方を見ることで、日本人の霊性を究明したいと思います。

講座番号　③－13

時　間：午後6時15分～7時45分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

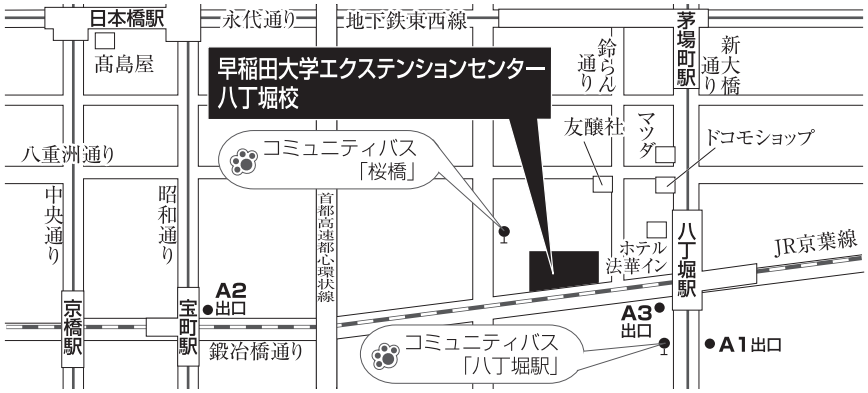
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 6（火）	釈尊のおしえ：四諦八正道と中道思想	田中　成明
第2回	10/13（火）	大乗仏教とは何か：般若の空思想	
第3回	10/20（火）	聖徳太子と聖武天皇の仏教観：17条憲法と仏教の理想	
第4回	10/27（火）	良弁と行基：菩薩道とは何か	
第5回	11/10（火）	奈良仏教と天台の比較：法相宗・華厳宗・三論宗・天台宗	
第6回	11/17（火）	真言密教と日本文化：空海と嵯峨天皇	
第7回	11/24（火）	浄土門の系譜①：空也・源信・良忍	
第8回	12/ 1（火）	浄土門の系譜②：法然・親鸞・一遍	
第9回	12/ 8（火）	聖道門の系譜：栄西・道元・日蓮	
第10回	12/15（火）	仏国土を作る：叡尊・忍性・明恵・西行	

講師紹介

田中　成明（たなか　じょうみょう）

書家、アメリカ仏教会元副会長。1947年生まれ。宗立伝灯学院卒業。1968年高幡不動尊金剛寺にて出家得度。後に京都大覚寺、奈良薬師寺で学修。1970年から75年までインドで学ぶ。1978年渡米、ニューヨークに曼荼羅寺開設。1982年からEUに伝道し、欧米の大学で仏教と書道の講座をもっている。著書『神通力』『密教の神髄』『虚空蔵求聞持法』など多数。

会場図



【交通】■ 東京メトロ日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より　徒歩1分
■ 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A2出口より　徒歩7分

中央区八丁堀3－17－9 京華スクエア3階
☎5117－2073

連携講座　③－14【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　15名

◆中学生レベルの英語で紹介する中央区（Ⅱ）

主　題　道端で、外国人に質問され慌ててしまった……という経験はありませんか？

この講座は、中央区民として、様々な外国人観光客から質問を受ける際に役立つ英語表現を学んでいただく事が目標です。

東京23区のほぼ中央に位置する中央区は、江戸時代以来400年にわたって文化・商業などの中心地として発展してきました。この魅力的な都市について、通訳のように本格的な英語ではないけれど、できるだけ簡単な表現で伝えられたら……より豊かな中央区民ライフがエンジョイできるかも?!

全10回の講座では、基本的な文法なども確認しながら各トピックを取り上げていきますが、講義そのものはユーモアを交え、楽しくくだけた形で進めたいと思います。Welcome　Everybody!

講座番号　③－14

時　間：午後8時～9時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

【対象】基礎～初級レベル（英検3級以上準2級未満）の運用力をお持ちの方。
※平成25年度前期講座と同一テーマで実施いたします（はじめて参加される方が優先されます）。
※レベルや内容などについてのお問合せは八丁堀校（5117-2073）語学講座担当までご連絡ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 6（火）	案内に役立つ表現を学習しましょう①	Robert L.Plautz
第2回	10/13（火）	案内に役立つ表現を学習しましょう②	
第3回	10/20（火）	中央区の歴史について	
第4回	10/27（火）	外国人からの頻出質問 ～銀行窓口・ATM、トラベラーズチェックほか～	
第5回	11/10（火）	お勧めしたい中央区のスポット① ～隅田川～	
第6回	11/17（火）	お勧めしたい中央区のスポット② ～浜離宮恩賜庭園～	
第7回	11/24（火）	お勧めしたい中央区のスポット③ ～聖路加国際病院・聖路加ガーデン～	
第8回	12/ 1（火）	お勧めしたい中央区のスポット④ ～水天宮と人形町～	
第9回	12/ 8（火）	お勧めしたい中央区のスポット⑤ ～日本橋横山町馬喰町の問屋街～	
第10回	12/15（火）	総合復習	

講師紹介

Robert L.Plautz（ロバート　プラウツ）

早稲田大学エクステンションセンター講師、翻訳家。アメリカ、ミシガン州出身。1983年ブリガム･ヤング大学(歴史専攻)にて、最優等（Summa Cum Laude）で学士号を得る。1984年10月東京外国語大学へ留学し、日本の近代史の研究を行う。1988年コロンビア大学(ジャーナリズム学部)にて修士号を得る。1988～89年ルイジアナ州シュリーブポートジャーナル社にて、社説担当副編集長として従事。国際交流員として大分県企画調整課に勤務、平松知事の通訳を行う。

連携講座　③－15【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　25名

◆川柳を楽しもう！

主　題　この講座は、「講義と実践」の二本立てで進行していきます。 毎回、川柳についての基本を楽しく学びながら、実際に自分でも川柳を作ってみる、という展開です。初心者も大丈夫です。ご一緒に川柳を楽しみましょう。

講座番号　③－15

時　間：午後6時15分～7時45分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円
定　員：30名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 7（水）	川柳の魅力①	江畑　哲男
第2回	10/14（水）	川柳の魅力と日本語の魅力	
第3回	10/21（水）	川柳の作り方、学び方	
第4回	10/28（水）	川柳百面相	
第5回	11/ 4（水）	川柳の創作と鑑賞①	
第6回	11/11（水）	川柳の創作と鑑賞②	
第7回	11/18（水）	川柳の推敲の仕方①	
第8回	11/25（水）	川柳の推敲の仕方②	
第9回	12/ 2（水）	互選を楽しむ	
第10回	12/ 9（水）	川柳の魅力②（まとめ）	

講師紹介

江畑　哲男（えばた　てつお）

（一社）全日本川柳協会常任幹事、早稲田大学国語教育学会会員。早稲田大学教育学部国語国文学科卒業。高校教諭の立場から「川柳の魅力と日本語の魅力」を発信してきた。各地で川柳の勉強会を立ち上げ、川柳の普及に努めている。著書『アイらぶ日本語』（学事出版）、『近くて近い台湾と日本』（新葉館出版）など。

連携講座　③－16【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　20名

◆歌舞伎を楽しむための江戸文化

主　題　江戸時代の幕明けとともに生まれ、民衆が育み伝えてきた歌舞伎を、今なお見物できる喜びを感じずにはいられません。その歌舞伎美学を作り出した江戸文化をより深く知れば、歌舞伎の楽しみはいっそう豊かなものになるはずです。

この講座では初心者にもわかりやすく名作を紹介しながら、歌舞伎の大事な美意識を多方面にわたって探ってみます。講座の最後には舞踊名作の一節を三味線に合わせて口ずさんでみましょう。

講座番号　③－16

時　間：午後6時15分～7時45分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円
定　員：30名

回数	日程	講義内容
第1回	10/22（木）	芝居の見物
第2回	10/29（木）	相撲
第3回	11/ 5（木）	火消し
第4回	11/12（木）	祭礼
第5回	11/19（木）	歌舞伎音楽

講師紹介

鈴木　英一（すずき　えいいち）

早稲田大学演劇博物館招聘研究員、聖学院大学講師。1964年生まれ。早稲田大学大学院博士課程満期退学。歌舞伎舞踊を専攻。常磐津節演奏者としても活動し、研究成果を生かした創作活動にも携わる。共著に『世襲について』（日本実業出版社）、創作に「魑魅魍魎的」「通小町」「（かぶき体操）いざやカブかん!」。

連携講座　③－17【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　一般募集　20名

◆身近な植物の知恵と不思議を楽しく探る

主　題　植物は動けませんが、人や動物とは違う方法で巧みに生活しています。花は美しく装い、実やタネは風や水の力を利用し、葉は光を浴びて光合成をするなど、生きて子孫を残すためのさまざまな工夫が凝らされています。

この講座では、毎回、身近な植物について五感を駆使して観察していきます。季節感を味わいながら、花や実、葉っぱなどを教室で観察しましょう。あわせて、楽しくてわくわくする植物たちの世界や、鳥や虫や動物たちとのかかわりなどについても紹介します。

見慣れたつもりの植物も、視点を変えてよく見れば、驚きの知恵や工夫がいっぱいです。

※各回の講義は、その時に手に入ったものを中心に展開するので予定と異なる場合があります。

講座番号　③－17

時　間：午後6時15分～7時45分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円
定　員：30名

回数	日程	講義内容
第1回	10/23（金）	季節の植物の観察と実験・植物遊び①
第2回	10/30（金）	季節の植物の観察と実験・植物遊び②
第3回	11/27（金）	季節の植物の観察と実験・植物遊び③
第4回	12/11（金）	季節の植物の観察と実験・植物遊び④
第5回	12/18（金）	季節の植物の観察と実験・植物遊び⑤

講師紹介

多田　多恵子（ただ　たえこ）

立教大学・国際基督教大学講師、朝日カルチャー講師。東京大学理学部生物学科卒業、同博士課程修了、博士（理学）。専門は植物生態学。植物の生き残り戦略、虫や動物との関係を、いつもわくわく追いかけている。著書に『図鑑NEO・花』（小学館）、『種子たちの知恵』『里山の花木ハンドブック』（NHK出版）、『葉っぱ博物館』（山と渓谷社）など多数。